

跳び箱の台車作りと立ち位置のマーキング管理

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

1. 跳び箱の台車作り



どこの体育倉庫を見ても主のようにのさばる跳び箱 台車がついてなければなお出しませんよね



今年も制作しました ホームセンターに行きコンパネを購入してカットしてもらおう（1カット30円）



厚さ 11mm のコンパネなので、それ用のネジとキャスターも購入



コンパネはささくれ部分をガムテープで保護します



保安部の先生にも協力してもらいました



完成！！（製作費約2,500円 制作時間1時間）



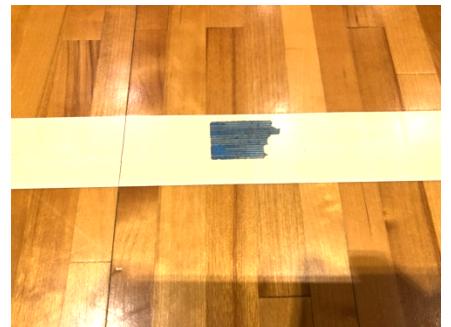
色ガムテープを貼りわかりやすくしています

これで全ての跳び箱に台車がつき、跳び箱の出し入れが簡単になりました
今後、準備片付けのマネージメント時間も減り、運動学習の時間が増えることが期待されます

2. 体育館のコロナ対応マーキングとその管理



9月に体育館での集会が可能になったため、縦17人、横14人分（最大238名）の立ち位置をマスキングテープでマーキングしました



しかし、3ヶ月もするとテープはボロボロ 一部剥がれていたり、張り替えも必要になってきています



そこで活躍したのが、100円均一で買った3本100円のプラスチック製スクレーパー（ヘラ）
金属製と違い、床を傷付けません



斜め 45 度ぐらいでマスキングテープを押すと
うまい具合にまとまっています



テープ跡が残っても、上からガムテープで押さえると綺麗に剥ぎ取れます



自分一人では間に合わないときに、体育館掃除の子に手伝ってもらいました みんな黙々ととりこんでくれます（床が例年ほど冷たくないこともあるのでしょうか）

今年は本当に発見することの多い一年になりました